第８講・産業の発達と政治の変化

享保(きょうほう)の改革，農村社会の変化

ポイント1　享保の改革

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 享保の改革

8代将軍　徳川吉宗(とくがわよしむね)（元紀伊藩主(きいはん)）の改革

目的：税収を増やし幕府(ばくふ)財政の立て直しを行う

資料1 堂島(どうじま)米市場

② **主な政策**

目安箱(めやすばこ)：民衆の意見を直接取り入れる

公事方御定書(くじかたおさだめがき)：裁判や刑罰の基準を制定

③ **財政**

武士に質素倹約(しっそけんやく)・武芸を奨励

上米(あげまい)の制	大名に一万石(ごく)につき百石の米を納めさせる代わりに 参勤交代で江戸にいる期間を短縮
新田開発	年貢(ねんぐ)を増やすため，幕府や諸藩(しょはん)が積極的に勧める
年貢率の引き上げ	四公六民(しこうろくみん)（40%）から五公五民(ごこうごみん)（50%）へ 大阪堂島の米市場を公認（米価の調整に苦心=米公方(こめくぼう)）

ポイント2　農村の変化

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① **農村の変化**

農具や肥料を買う現金が必要となり，商品作物の栽培がよりさかんになる

↓

農村に貨幣(かへい)経済が広まる

② 農民の貧富の差の拡大

地主　：本百姓（ほんびゃくしょう）

領主に年貢を納める

貧しい農民の土地を買い集める者もいた

⇕

小作人（こさくにん）：水呑百姓（みずのみびゃくしょう）（土地を持たない農民）

地主に小作料を納める

資料2 問屋制家内工業

③ 農村工業の発達

18世紀ごろ　**問屋制家内工業**（といや）

問屋から原料や道具などを借り，

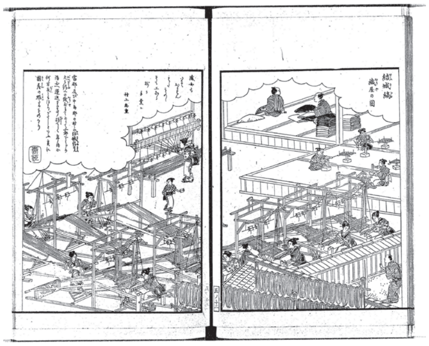
家内で手工業による製品を作る

↓

19世紀ごろ　**工場制手工業**　（マニュファクチュア）

工場を作り，人を雇って分業による協業で生産

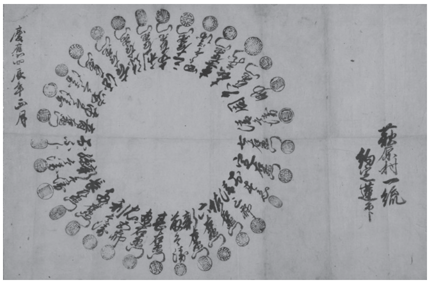
資料3 工場制手工業



ポイント3 一揆（いっき）・打ちこわしの多発

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

資料4 からかさ連判状



幕府や藩による年貢の引き上げ，

商品作物の専売制やききんの発生

↓

百姓一揆　：農村で起こった暴動

からかさ連判状　：一揆の首謀者が分からないように，円形に署名したといわれる訴状

打ちこわし　：都市の貧しい人々が商人などに対して起こした暴動

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 江戸幕府の8代将軍で，享保の改革を行った人物は誰か。　徳川吉宗

(2) 徳川吉宗が裁判や刑罰の基準を制定したものを何というか。　公事方御定書

(3) 徳川吉宗が行った，大名に一万石につき百石の米を納めさせる制度を何というか。　上米の制

(4) 19世紀ごろに大商人などが工場を作り，人を雇って分業による協業で生産したことを何というか。　工場制手工業（マニュファクチュア）

(5) 都市の貧しい人々が商人などに対して起こした暴動を何というか。　打ちこわし

(6) 一揆を行う際に，一揆の参加者が円形に署名したものを何というか。　からかさ連判状